

121030 タテハチョウ

夏の間、南河内の山々の山頂付近では、「キアゲハ」や「ツマグロヒョウモン」、「ミドリヒョウモン」、それに「アサギマダラ」などの比較的大型のチョウチョが元気よく飛び回っていましたが...

日増しに秋が深まっていくこの時期、山頂付近で出会うチョウチョの種類も数もかなり少なくなってきました。

このような中、日中の日だまりで暖を取っているのか、ハイキング道を歩いていると、ふいに地面から飛び上がり、少し先の地面に舞い降りたり、近くの「モリアザミ」などの花にとまったりする、比較的大きなチョウチョがいます。

「アカタテハ」と「キタテハ」です。

それに、やや小柄な「テングチョウ」もいます。

今回は、2種類のタテハチョウ、「アカタテハ」と「キタテハ」を紹介することにします。

いずれの種もタテハチョウ科に属し、飛翔能力に優れています。

結構高速で飛び回り、とまったときには羽をたてますので「立て羽」、そこから「タテハ」と名付けられたのでしょね。

他の多くの種のチョウは、冬を前にその姿を消しつつあるのですが、こちらの種は寒さに強いのでしょうか？

実は“強い”どころか、**成虫で越冬**するのです。

そして...

2月～3月頃の暖かな日には、真っ先に姿を見せる種の一つなのですね。

写真 ~ : **アカタテハ**

写真 ~ : **キタテハ**

















